

令和4年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試
入学者選抜学力検査問題

専門科目（特定課題型）

（150分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は2枚からなっています。また、解答用紙は問題文中に指示されている解答用紙を使いなさい。この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 使用するすべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
4. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

問題

近年日本は、毎年のように自然災害にさらされるようになった。災害によって発生する様々な悲劇や被災後のストレスを、回避または軽減するためのモノやコト（コミュニケーションツール、空間、プロダクト、サービスなど）をデザインしなさい。

B4 解答用紙（ケイ線入り）に対象とする課題と、デザインコンセプトを記述しなさい。そして、B3 解答用紙 1 枚にデザイン案を描きなさい。

解答は、以下の〈条件〉に従い行うこと。

〈条件〉

1. B3 解答用紙には、下書き用紙（A3）に作成した文章、スケッチ、図面、図解などを貼り込んでもよい。
2. B3 解答用紙は、縦、横どちらで使用してもよい。
3. B3 解答用紙は、受験番号欄が印刷されている方を裏面として使用しなさい。
4. 以下の貸与画材は、必ずしも全て使用する必要はない。

貸与画材

- ・ サインペン黒（中太）
- ・ サインペン黒（細）
- ・ 色鉛筆
- ・ 小型鉛筆削り
- ・ スティックのり
- ・ ハサミ

(以上)

令和4年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻 一般入試
入学者選抜学力検査問題

専門科目（論文型）

（150分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 次頁以降の選択問題1～4の中から1つの問題を選択し、解答しなさい。
3. 各選択問題の配点は同じです。
4. この問題冊子は3枚からなっています。また、解答用紙は4枚（けい線入り2枚、けい線なし2枚）、下書用紙は2枚あります。監督者から解答開始の合図があったら、この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. けい線入り解答用紙と、けい線なしの解答用紙のどちらを使ってもかまいません。使用する解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 選択した問題番号を、解答用紙解答欄上部左側に記入してから解答しなさい。
7. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

選択問題 1 (デザイン分野)

以下の問いに答えなさい。

- 問 1. With コロナの時代が来ると仮定して、考えられる社会課題をあげ、その課題をあげた理由と共に、説明しなさい。
- 問 2. 問 1 であげた社会課題の解決に役立つ人工物（サービスを含む）を提案し、その内容を説明しなさい。説明手段（説明文、ダイアグラム、イラストなど）はその内容に応じて選択すること。
- 問 3. 問 2 で提案した人工物の効果を検証する論文を書くことを想定して、その研究方法を具体的に記述しなさい。

選択問題 2 (ビジネス課題)

国連や OECD では、政治経済上の目標である「人々の幸福」を比較可能な指標を用いて客観的に計測することが試みられている。下に示すデータは OECD が「幸福度」を計測するにあたって用いているものの一部である。

- 問 1. あなたが考える「人々の幸福」を明確にした上で、これらのデータに基づいて「幸福度」を計測する方法を提案し、その方法に基づいて「幸福」な国ランキングを作成しなさい。
- 問 2. ここに示されていないデータで、「幸福度」を計測するために必要と考えるものがあれば、なぜそのデータが必要かを説明するとともに、それをどのようにして測定するかを述べなさい。

問題は著作権の関係で掲載しておりません

*1 1 m³当たり 10 µg以上の PM2.5(微小粒子状物質) にさらされている人口の比率

データ元 : OECD 「How's Life? 2020」

選択問題 3 (キュレーション分野)

以下の問いに答えなさい。

問 1. 次の (a) から (k) までにあげる 11 名より 4 名を選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。

- (a) クロード・モネ (b) 伊藤若冲 (c) 杉浦非水 (d) レオン・バクスト
(e) ハラルド・ゼーマン (f) 横尾忠則 (g) オーギュスト・ロダン
(h) エミール・ガレ (i) 上村松園 (j) ヨーゼフ・ボイス (k) 森英恵

問 2. コロナ禍においてオンラインでのミュージアム体験の方法がさまざまに模索されている。コンピュータ・ネットワークを活用したキュレーションの可能性について、実際の取り組みを参照しつつ、自分の考えを述べなさい。また、そのようなキュレーションを実現するにあたって懸念される現実的な問題点についても、具体的な事例をあげながら記しなさい。

選択問題 4 (テクノロジー分野)

工業製品を新規に開発・製造して販売にいたるまでの一連のプロセスにおいて、工学は、製造技術や生産技術をはじめとして、複数の技術分野で重要な役割を担っている。日常生活で使われている工業製品の事例をあげた上で、その製品が開発された一連のプロセスにおいて、製造技術や生産技術以外で重要な役割を果たしたと考えられる技術分野 2 つについて、それらの技術分野がどのような役割を果たしたか、あなたの考えを具体的に論じなさい。

解答にあたって、図面、イラスト、グラフなどを用いても構わない。

(以上)